

2020年 12月 2日

## 臨床データ利用のお願い

海南病院では、以下の研究を実施しています。本研究の対象者に該当する可能性のある方で、カルテ情報を研究目的に利用されることをご希望されない場合などお問い合わせがありましたら、お手数ですが以下の問い合わせ先にご連絡ください。

### 1. 研究課題名

当院での RAISE study に基づく治療導入前後の

免疫グロブリン大量静注療法不応予測例に対する川崎病治療成績

### 2. 研究責任者

海南病院小児科 春日部 こずえ

### 3. 研究の概要

川崎病は未だ原因不明の疾患であるが、臨床試験や疫学調査によって、診断や急性期治療の研究が進み治療成績も向上してきている。川崎病の標準治療として、免疫グロブリン大量静注療法（IVIG: Intravenous Immunoglobulin）とアスピリン（ASA）併用療法が世界中で使用されているが、IVIG 抵抗例に対しての有効な治療方法の確立が急務である。2013年から2018年にかけて、当院ではRAISE（Randomized controlled trial to Assess Immunoglobulin plus Steroid Efficacy for Kawasaki disease）study に基づき、IVIG 不応予測例については初期からプレドニゾロン（PSL: prednisolone）を併用している。当院の IVIG 不応予測例に対する RAISE study 導入前後での治療成績について後方視的に評価を行った。

RAISE study 導入前に比べ、導入後に、IVIG 投与回数については有意に減少していたが、入院期間は延長していた。冠動脈病変については両群に差はなかった。

### 4. 研究方法

#### ① 対象となる患者さん

2008年6月から2012年4月、2015年1月から2018年12月に川崎病の診断で入院した患者

#### ② 使用する試料等

残余検体：なし

カルテ情報：年齢、性別、入院日数、診断項目、採血結果、エコー検査結果

治療方法・結果

5. 個人情報の取扱い

貴重な患者さんの個人情報は、「個人情報保護法」及び「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」など各種法令に基づいて管理します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

6. 問い合わせ先・相談窓口

JA 愛知厚生連 海南病院 小児科 春日部 こずえ

電話：0567-65-2511（代表）